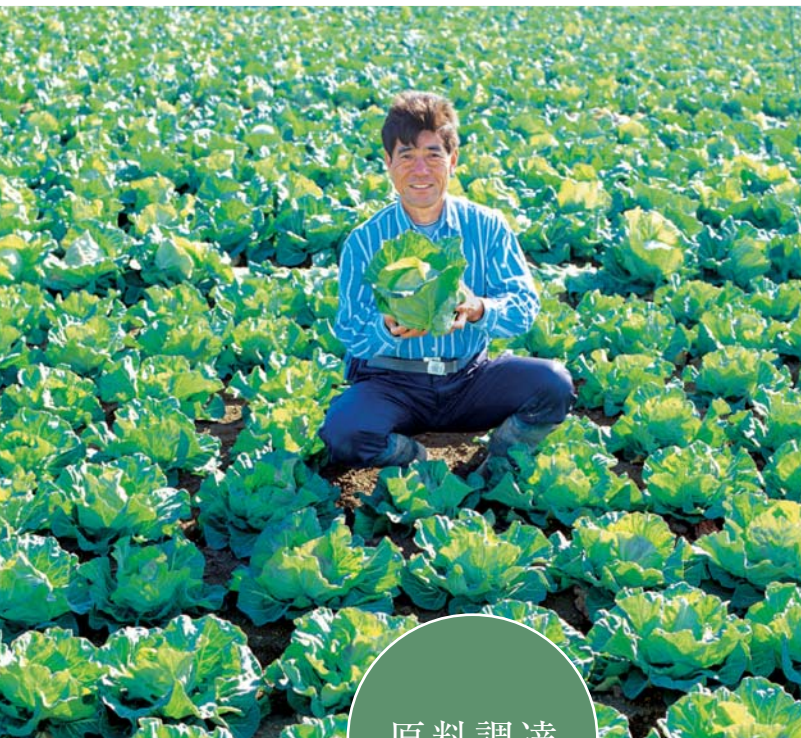


お取引先と連携しながら、サプライチェーン全体で社会的責任を果たしていきます



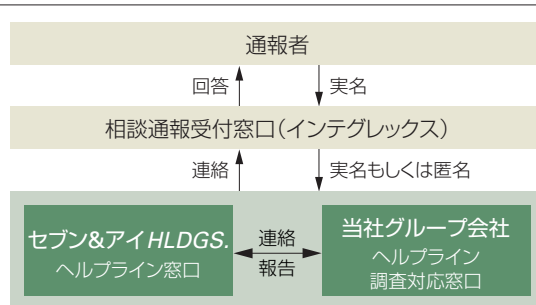
- 産地の環境保全
- 環境に配慮した栽培方法の採用
- 生産者の人権尊重
- 生物多様性の尊重 など

- 商品の品質・衛生管理の徹底
- 生産履歴の管理
- 安全で働きやすい職場環境づくり など

お取引先と連携したCSR推進のため

公正取引の徹底

セブン&アイHLDGS.では、お取引先との公正な取引を維持・徹底していくために、専門組織であるFT部会(→P21)を通して、関連諸法規に関する情報や、各事業会社の事例をグループ会社で共有するとともに、従業員教育を徹底しています。さらに当社グループのお取引先からの相談やご意見の受付窓口として「セブン&アイHLDGS.お取引先専用ヘルプライン」を第三者機関に設置し、社会からの信頼を失うおそれのある行為の早期是正と未然防止に努めています。



セブン&アイHLDGS.お取引先専用ヘルプラインはWebサイトで詳しく紹介しています。
<http://www.7andi.com/csr/helpline.html>

セブン&アイHLDGS.の各事業会社を取り扱う商品のサプライチェーンは、原料の仕入先や生産・加工委託先、物流関連・廃棄物・リサイクル処理の委託先など多様な取引先によって構成されています。お客様の期待に応える「安全・安心」な商品を提供するため取引先との連携を強化し、サプライチェーン全体で法令遵守はもとより、労働条件や環境保全への配慮といった社会的責任を果たします。



-
-
-
-
-
-
-
-

-
-
-
-
-
-
-
-

の仕組みづくりに取り組んでいます

「セブン&アイHLDGS.お取引先行動指針」遵守の要請

セブン&アイHLDGS.は2007年3月、当社グループのお取引先に理解・遵守していただきたい項目をまとめた「セブン&アイHLDGS.お取引先行動指針」を策定し、同年12月から運用を開始しました。また、当社グループまたは事業会社のオリジナル商品の製造を委託するお取引先に対しては、行動指針の遵守とあわせて、その遵守のために必要な事項を具体的に記載した「セルフチェックシート」の提出を依頼しています。

セブン&アイHLDGS.お取引先行動指針

1. 法令遵守	5. 地域・社会との関係
2. 人権・個人の尊厳の尊重	6. 情報の管理
3. 雇用・職場環境	7. 商品の安全確保
4. 環境管理	8. 公正な取引

セブン&アイHLDGS.お取引先行動指針の全文はWebサイトでご覧いただけます。
<http://www.7andi.com/csr/guide.html>

循環型農業への挑戦

店舗で発生する食品残さを堆肥化し、その堆肥で栽培した新鮮な野菜を店舗で販売するリサイクル・ループを構築していきます



「リサイクル・ループ」構築のために農業生産法人を設立

セブン&アイHLDGS.では、セブン-イレブンとイトーヨーカドーが中心となって、「食品リサイクル法」(2007年改正施行)で推奨されている「食品循環資源の再生利用(リサイクル・ループ)」の構築を2002年から進めています。これは、食品廃棄物を循環資源と考え、店舗で発生する食品廃棄物で堆肥をつくり、その堆肥を使って栽培した農産物を仕入れ・販売するという取り組みです。

イトーヨーカドーではこの“完全循環型の食品リサイクル”の実現を目指して、千葉県富里市内に農業生産法人「(株)セブンファーム富里」を2008年8月に設立。イトーヨーカドー、富里市農業協同組合(JA富里市)およびその組合員の共同出資によって設立された同社では、千葉県内のイトーヨーカドーの店

舗から回収した食品残さを堆肥化して、富里市内の直営農場約2ヘクタールで新鮮な野菜を栽培。県内のイトーヨーカドーで販売しています。さらに、生産農家であるJA富里市組合員とイトーヨーカドー社員が一緒になって生産に取り組むことで、お客様のニーズに合った安全・安心な商品の提供を目指すとともに、農業生産性向上のための手法なども一緒に開発し、地域の農業の活性化へも寄与したいと考えています。

2009年6月には農場を5.1ヘクタールに拡大し、埼玉県・神奈川県・茨城県でのセブンファームの設立も計画しています。このセブンファーム富里を「循環型農業のモデル」と位置づけ、取り組みを発展させていきます。

サステナビリティに配慮した商品の販売

生産農家への適正な支払いや生活環境への配慮がなされた商品の販売を通じて生産地の持続可能性向上に貢献していきます



生産者の生活環境や産地の環境保全などの「人と環境に配慮したコーヒー」の販売

農産物などのグローバルなサプライチェーンにおいて、途上国など生産地での強制労働・児童労働が国際的に問題視されています。食料の多くを輸入に頼る日本の現状もふまえて、セブン&アイHLDGS.の事業会社ではこうした問題の改善につながるサステナビリティに配慮した商品の導入を始めました。

その一環として、2009年4月には「グッドインサイド^{※1}」認証を受けた「人と環境に配慮したコーヒー」の販売を開始^{※2}。この認証プログラムでは、生産履歴の明確な管理による「安全・安心」な商品の提供を重視するとともに、生産者とその家族の健康・安全や生産地の自然環境に配慮していることを基準としています。こうした適正な生産・取り引き過程を経て生産された良質な商品の提供を通じて生産地での持続可能な農

業生産をサポートしていきます。

また、お客様に対してこうした社会・環境に配慮した商品の意義を伝えていくための工夫もしています。「人と環境に配慮したコーヒー」の販売にさいしては、社外の方からのご意見を参考にして生産過程とその中で配慮されたことがわかるパッケージデザインにしました。さらに売場でも、POPやリーフレットを利用してグッドインサイド認証について説明しています。

※1 グッドインサイド
農産物の持続可能な生産・加工・流通に関する基準を定めた世界規模の認証プログラム。

※2 2009年5月末現在、5アイテムを、イトーヨーカドー168店舗・ヨークベニマル156店舗（一部店舗では3アイテムのみ）・ヨークマート61店舗で販売。

